

抗がん剤治療と口腔ケア



口腔ケアをすることで、抗がん剤治療時の合併症である口内や顎の骨のトラブルを減らすことができます。

抗がん剤治療により口の粘膜の細胞がダメージを受けて、炎症を起こしやすくなります。口腔粘膜炎や歯周病の炎症が悪化すると、やむなく抗がん剤治療の計画を見直さなければならない場合もありますので、常にお口の中を清潔に保つことが重要です。

抗がん剤治療による口内炎は治りにくいことがあり、口内炎ができてから治療するよりも、**予防・口腔ケア**（清潔・保清）が大切です。

抗がん剤治療が決まったら、早期に歯科・口腔外科を受診して、口内炎を予防しましょう。

がん治療における医科・歯科連携の流れ

近畿中央病院

①お口のケアを依頼

紹介状を持って歯科医院を受診

地域の歯科医院

②入院・がん治療

入院中は近中で専門的な治療・お口のケア

③定期的なケア

退院後は地域の歯科医院で定期的なお口のケア



近畿中央病院では、地域の歯科医院・クリニックと連携し、抗がん剤治療による口内炎の予防・治療に取り組んでいます。

抗がん剤による治療が始めることが決まりましたら、早めに近畿中央病院の口腔外科外来を受診しましょう。